

『よさ、とりえ、輝く個性を伸ばし、笑顔あふれる学校』



長野中だより

学校教育目標

よく考え進んで学ぶ生徒
誠実で思いやりのある生徒
心身ともにたくましい生徒

平成29年9月1日発行 第5号 行田市立長野中学校 TEL 048-554-2240
ホームページアドレス <http://www.gyoda-naganochu.ed.jp/news/>



『やり抜く力』

校長 漆原 亮

「先輩たちの悔しい思いを目の前で見えてきて、自分たちこそはという気持ちで、本当にかまん、がまんここまでやってきて、そのがまんがやっこの結果に結びついて、本当に、非常にうれしいです。」

これは甲子園を制覇した花咲徳栄高校野球部主将が、優勝インタビューで語った思いです。晴れがましくも堂々とインタビューに答える姿とともに、『がまん』という言葉がとても印象的でした。

私はこの夏休み、とても関心を抱いていたペンシルベニア大学心理学教授 アンジェラ・ダックワース氏の著書『GRIT (やり抜く力)』をじっくりと読んでみました。著者によれば執筆の理由は、「私たちが人生のマラソンで何を成し遂げるかは、『やり抜く力 (GRIT)』に大きくかかっている、『やり抜く力 (GRIT)』とは『長期的な目標に向けた「情熱(passion)」と「粘り強さ(perseverance)」がなすもの』であり、「才能」にこだわっているとこの単純な真実を見失ってしまうから。」と述べています。「才能だけでは結果は出せない。」「人生の長いマラソンでどこまで頑張れるかは、圧倒的に『努力』にかかっている。」とも言っています。

彼女は、日本のことわざである『七転び八起き (Fall seven, rise eight)』にも触れながら、こう言っています。

「『やり抜く力』は、『自分たちの努力次第で将来はよくなる』という信念に基づいている。“明日はきっといい日になる”と“明日はもっといい日にしてみせる”では大違いである。『やり抜く力』を持つ人々にとって“運”は無関係であり、何度でも立ち上がろうとすること、それがすべてだ。」

誰でも逆境や挫折を経験することはあるが、『才能』にこだわっていると「自分は何をやってもダメだ」と悲観的に考える。一方、『努力』を信念に抱くと、「効率のよいやり方ができなかった、どうにかできる」と楽観的に、問題として対処しようとする傾向があるとのこと。彼女は、こんな研究も紹介しています。

「コーチたちが各選手に、自分のいちばん得意な種目で泳ぐように指示をした。そして泳ぎ終わった選手に、わざと実際よりも少し遅いタイムを告げた。その後、各選手はもう一度チャンスをもらって泳いだ。すると、楽観主義者たちのタイムは少なくとも最初と同じレベルだったが、悲観主義者たちのタイムは大幅に遅くなってしまった。」

『やり抜く力』には“心の持ちよう”も大切な要素であると言えます。

花咲徳栄高校にも次のようなことがあったようです。(2017. 8.26. 読売新聞)

チームは昨秋、屈辱を味わう。関東大会1回戦で慶應義塾(神奈川)に1-9でコールド負け。千丸剛主将は「攻守の全てで力不足」と痛感した。選手たちの目の色が変わった。岩井監督が冬場に「ハンマートレニング」だ。約10キロのハンマーを振り上げ、手首の力で押し込むようにタイヤに打ち付ける。それを50回繰り返す。「腕が丸主将まで繰り返した。西川愛也選手は「人生で一番苦しい冬だったけれど、(コールド負け)悔しさがあったから乗り越えられた」と語る。

このことに関連して『GRIT』にはこんな記述があります。

「自分の『やり抜く力』を強化したいなら、『やり抜く力』の強い文化を見つけ、その一員となること。あなたがリーダーの立場にあり、組織のメンバーの『やり抜く力』を強化したいなら、『やり抜く力』の強い文化をつくりだすことだ。」

ここでは、『やり抜く力』を持つ集団・組織も重要であることが示されています。こんな記述もありました。

「偉大な競泳選手になるには、偉大なチームに入るしかないんです。」

2学期が始まりました。学習に、運動に、そしていい仲間づくりにいっそう勤しむことが期待される学期です。その取組の中で、『やり抜く力』を身に付け、日々お互いに磨き上げ、切磋琢磨できる、誇りに思う学級、学校をつくりあげていきましょう。長中生一人一人の頑張りを期待しています。

9月行事予定



1	金	2学期始業式、体育祭実行委員会
4	月	給食開始、A短、避難訓練 体育祭PTA合同会議 16:00
5	火	A短、専門委員会、体育祭全体練習、 特別支援学級合同遠足(於.加須げんきプラザ)
6	水	3年実力テスト
7	木	A短、まきば園訪問
8	金	A短、体育祭全体練習、放課後集会 種目別練習 17:00 まで
9	土	正門広場貸し出し(二桜自治会)
10	日	正門広場貸し出し(二桜自治会)
11	月	種目別練習 16:00 まで
12	火	木曜授業、各係予行準備、 種目別練習 17:00 まで
13	水	体育祭予行、(雨天時は水曜授業)
14	木	火曜授業、(予行予備日)
15	金	部活動休止、体育祭準備確認
16	土	体育祭(雨天時は休み)
17	日	体育祭予備日(雨天時は金曜日授業)
18	日	敬老の日
19	火	体育祭予備日

22	金	振替休業日
23	土	秋分の日
24	日	校庭貸し出し(長野地区体育祭練習)
25	月	安全の日
26	火	A短、生徒集会(壮行会) 東部教育事務所管理担当訪問
27	水	北埼玉地区新人陸上大会

「〇〇の秋」と言いますが、

よく「〇〇の秋」という言葉を聞きます。〇〇は、読書だったり、食欲だったり、スポーツ、あるいは芸術といったことになるかと思えます。それだけ一番過ごしやすい時期ということを示していると思います。が、近年温暖化で紅葉が遅くなったり、しとしと降る秋雨ではなく短時間記録的大雨だったり、これまでの季節感覚が失われつつあるとの指摘もあります。とは言え、やはり落ち着いて取り組むには絶好の時期です。『灯火親しむの候』と言われるように読書を心がけ、知を磨き、心を豊かにしていきましょう。